

調査名

孔番・深度

H27B-4 (60 ~ 65)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
60	60.07										60.07 ~ 60.45 微細な割れ目が卓越し、コアは軟質と成る。割れ目沿いにコア表面に凹凸所が多く、サラツク。
	60.45		SYR 3/3								60.45 ~ 60.82 低~中角度の平行に走る割れ目が卓越。割れ目と沿って褐色汚染が明瞭。
	60.82										60.82 ~ 61.22 微細な割れ目が卓越。コアは軟質と脆弱。特に 61.40 ~ 61.58 間では劣化が顕著。
61			GR	橙							61.52 ~ 62.36 劣化若干不規則だが、不規則に微細な割れ目が非常に卓越する。
	61.22										61.52 ~ 62.36 コアは軟質と成り、表面がサラツク。
	62.36										62.36 ~ 63.25 コアは軟質と成り、表面がサラツク。低角度がやや優位に不規則に微細な割れ目が卓越する。
62											62.36 高断性の割れ目(節理) 幅 10mm 左右 緑色味を帯び、褐色汚染が明瞭。
	63.25										63.25 ~ 63.90 劣化し全体的に軟質脆弱。割れ目にZやシが生成している。
	63.90										63.90 ~ 64.65 全体に軟質、脆弱。連片状の割れ目には、灰白色のシトが生成する。
63											64.65 ~ 64.91 劣化し軟質、割れ目は不鮮明と成り、色味を帯びる。
	64.91										64.65 ~ 64.91 不規則帯
	64.91										64.91 下盤 65 (不明) 上盤 65 上盤 65 上盤 65 上盤 65
64											上下盤の間に高断面の条あり。
	64.65										
	64.91										
65	65.00										

調査名

孔番・深度

H27B-4 ( 65 ~ 70 )

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
65													65.59 ~ 65.72 不規則塊石10mm 砂状
66	66.30			5YR 6/1 赤	C	V	D		0	3		CL	65.72 ~ 65.92 5色 65.92 ~ 67.28 部分的に灰白色粘土 2~3mm 暗緑 下がフツフツ
67	67.28		GP	10YR 6/2 灰黄					0	3			66.30 ~ 66.30 割れ目が卓越し 竹筒状であるが 褐色汚染は 見られる。
	67.28			5YR 8/2 灰白	D	V	E		0	3		D	66.30 ~ 67.28 割れ目が交差し 細かい 毛状と成る。 67.28 ~ 67.98 変質部。軟質で 中に赤い点状の 灰白色 を呈する。割れ目は 不明瞭。と成る。粘土に浸透。
68	68.07			5YR 7/3 に	C	V	D		0	3		CL	67.28 ~ 67.98 軟質部。軟質で 中に赤い点状の 灰白色 を呈する。割れ目は 不明瞭。と成る。粘土に浸透。
	68.07								0	3			68.07 ~ 割れ目が卓越し コアと軟質で 表面はカラカラ
69	68.97 69.08				D	V	E		0	2		D	68.07 ~ 割れ目が卓越し コアと軟質で 表面はカラカラ 68.97 ~ 69.08 粗粒 ~ 砂状コア。粘土なし。
	69.08				C	V	D		0	3		CL	69.08 ~ 69.28 割れ目が卓越し 褐色。粗粒状と成る。 69.28 ~ 69.77 高角度と低角度の 割れ目が交差。高角度の 割れ 目は 殆どに 劣化が 明瞭
70									0	3			69.77 ~ 70.00 割れ目 密集。岩片状コア

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27B-4 (70~75)										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
70	70.08			5YR7/3	▽	▽						70.06 付近 60° 幅 20mm で 局所的に 弱く 破碎され 脆弱となる。 71.22 ~ 60°, 71.25 ~ 50° 崩断性・割れ目 (節理)。この間、幅 20 ~ 30mm 脆弱となる。 71.25 ~ 72.33 二面性物質で コア表面は ガラつく。 72.33 32° の 割れ目 向に、一見 腐植土 の ような マネガニ に 汚染され た 細粒物 と 破碎物 と 思われ る 暗緑 灰色 の 固い 砂状 の 土 を 採取。厚さ 8 ~ 15mm。 73.56 65° の 割れ目 に 暗褐色 に 汚染 され た 外層 の 砂を 4 ~ 10mm 採取
	70.22			に 5.11 橙	▽	▽						
	70.56				▽	▽						
	70.67				▽	▽						
	70.90				▽	▽						
71	71.25								0	9		
72	72.33		GP	淡					0	5		
	72.56			橙	▽	▽			0	5		
73					▽	▽						
74	74.19								0	8		
	74.34											
75									0	7		

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27B-4 ( 75 ~ 80 )										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化				
75												05 25.25 ~ 25.29 20~40°の低角度の割れ目が、ほぼ平行して卓越する。
76	25.27		Gp	淡	5R 3/4	C	D	0	6			25.27 ~ 26.25 割れ目沿いに劣化が見られ、やや脆弱となる。
	26.25											
	26.29											
77	26.60		橙	C	C	D	0	8		CL	27.48 ~ 27.67 割れ目、特に低角度のもの沿いに劣化が見られ、コアは軟弱となりガラつく。	
	27.48											
	27.67											
	27.73											
	27.94											
78	28.08		C	D	0	6					27.96 ~ 28.08 割れ目に沿って劣化が見られ、砂状の残存物が明瞭。	
	28.21											
	28.31											
	28.41											
79	28.90		C	D	13	13					28.45 ~ 28.52 マガマの短い筋状の汚染が多故見られる。高角度のものが多い。この筋上に割れ目として認識できるものは少ない。	
	28.90											
	29.03											
	29.23											
	29.67											
80	29.82		B	D	14	14						

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
					割れ目状態	コアの硬さ	風化	変質					
80	80.13		5YR 7/4	浅	N	B			24	13	CM ✓ 80.13	80.13 ~ 80.29 85 ~ 88° の同方向の割れ目が連続する。 80.29 ~ 80.51 割れ目の傾度はやや少なくなるが、割れ目沿いの劣化は明瞭。 80.51 ~ 81.02 割れ目には存在物が見られるものが多い。劣化は弱い。	
	80.29				D								CL ✓
	80.51				C								CM ✓ 80.51
	81.02				B								CL ✓ 81.02
81	81.30		5YR 7/3	橙					26	15	CM ✓ 81.30	81.30 ~ 81.96 割れ目の存在物も薄く、劣化も硬質。高角度の微細な割れ目が見られるが、完全に連続してはいない。	
	81.76				C								CL ✓ 81.76
	81.96				B								CM ✓ 81.96
	82.23				C								CL ✓ 82.23
82	82.23		5YR 7/3	橙					13	13	CM ✓ 82.23	82.23 ~ 83.32 割れ目沿いに褐色汚染が明瞭。汚染は、割れ目沿いの両側からコアの半分程度に及ぶ。	
	83.32				B								CL ✓ 83.32
	84.05				C								CM ✓ 84.05
83	84.05		5YR 7/3	橙					34	12	CM ✓ 84.05	84.05 ~ 84.77 割れ目が連続し、劣化も軟弱となる。特に84.39 ~ 84.58 内は劣化が進み、脆弱等。	
	84.77				B								CL ✓ 84.77
	84.94				C								CM ✓ 84.94
	85.08				D								CL ✓ 85.08
84	84.94		5YR 7/3	橙					0	8	CM ✓ 84.94		
	85.08				C								CL ✓ 85.08



# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
90												
	91.75					√ B				CM		
91				10R <sup>3/4</sup>					√ 17	√ 17		90.75~91.90 <sup>6</sup> 微細な高角度の割れ目が連続する。高角度の割れ目は60°以下の低角度の顕在化して割れ目に切られることが多い。
												91.45~48° 層断性の割れ目(節理)、幅6mm <sup>2</sup> 層断破砕され、鏡色味を帯びる。
92				浅黄橙		√ C			√ 6	√ 6		
	92.55											
	92.55											
	92.91											
93				GP		√ C			√ 6	√ 6		92.55~92.91m 高角度と低角度の割れ目が交叉し、層断性となる。岩層もやや軟弱である。
	93.13											
	93.22											
												93.13~93.22 破砕帯 93.13 上盤 30° 粘土 12mm (±) 93.22 下盤 50° 粘土なし。 上盤の下側 50mm 取厚で粘土層が見られる。
94									√ 14	√ 14		94.38~94.40 層断性の節理2条、割れ目沿いに鏡色味を帯びる。
95	95.00								√ 13	√ 13		

調査名

孔番・深度

H27B4 ( 95 ~ 100 )

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
95												95.00 ~ 95.30 25~60°の平行した割れ目に沿って弱い変質作用を受ける。割れ目沿いはやや緑色味を帯びる。
96			GP	浅								95.65 ~ 95.85 岩化し脆弱となる。輝沸石が散在し(熱水の影響)光る。
	96.42	10YR8/4 浅 黄 橙		96.42	10YR8/6 浅 黄 橙							96.32 96.20 ~ 30°の剪断性の割れ目(節理)。幅30~40mmで脆弱、軟質となり弱い破碎を受ける。一部緑色味を帯びる。
97	97.10			浅								97.10 ~ 97.58, 97.70 ~ 98.00 割れ目が著しく発達し。粗砂と岩片が入り混じった状態のコアとなる。
	97.58			浅								
	97.81			黄								
98	98.03			黄								98.02 ~ 98.22 短柱状~岩片状コア。割れ目に沿って岩化が顕著。
				橙								98.20 ~ 98.62 柱状~短柱のコアと交換されたものが发育した微細な割れ目が非常に多く、強度でコア表面はサラツク。
99												99.05 ~ 99.10 局所的に岩化が進行し顕著。
	99.53											99.10 付近 輝沸石が明瞭に見える。
100	99.97											99.97 m

# 基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの種類	風化				
100	100.70			10YR 8/4 浅黄橙		B					100.28 ~ 100.30 50~55°の割れ目中に5~6cmの破碎物も厚さ2~4cm様々。褐色汚染明瞭	
101	101.07				C						100.45 25°の低角度斜小目周辺に鮮やかな青色の葉状鉄物が見られる。この鉄物は塩酸で溶け消えこたは珪石ではなく、珪石の可能性もある。	
101	101.24	101.24	GP	7.5YR 8/6		C					2主体として	
101	101.40	101.43									101.31 ~ 101.43 m. 低角度の斜小目が集中。斜小目沿いの岩化も明瞭。一部局所的に碎柱となる。	
102	101.80			浅黄橙		B					101.43 ~ 102.23 柱状~互柱状のコアが主体。劣化した堅硬である。	
102	102.29										102.23 ~ 102.32 斜小目がやや平越。102.23, 102.25に層状の節理で、斜小目沿いの劣化が明瞭。	
102	102.37											
102	102.87											
103	103.40										102.87 ~ 102.97	
103	103.40										103.40 ~ 103.55 高角度主体の微細な斜小目が平越	
103	103.55										J3	
103	104.03										104.03 ~ 104.17 50~60°の節理性の斜小目(節理)が平越する。	
104	104.17											
104	104.67										104.50 ~ 104.67 コアは柱状の褐色汚染が明瞭である。	
105				10YR 7/3 1=2.0 黄橙		B						

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27B4 (105~110)										
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
105	105.08		GPK	10YR 7/3	✓ IV					CM	105.08 ~ 105.80 柱状コアが主体で劣化も軽微。 106.31 ~ 106.39 局所的に割れ目が集中する。割れ目沿いの劣化も僅かに見られる。 106.58 ~ 106.92 コアに磁石状の褐色汚染が見られる。 106.92 ~ 30'の割れ目にて汚染された褐色の泥状物が見られ、厚さ3mmで検出する。	
	105.31			に	✓ B					CM		
	105.80			3:1	✓ III							
106	106.23			10YR 7/3	✓ IV					CM	107.40 ~ 108.34 堅硬な柱状コアが主体。割れ目やクラック面にマンガン褐色の環状汚染が見られるが検出物はほとんど見られない。	
	106.52		黄	✓ III								
	106.76		橙	✓ III								
	106.80		黄	✓ III								
107	107.40			10YR 7/3	✓ IV						108.46 ~ 108.71 弱い剪断破壊を受け、コアは軟弱となる。割れ目も若干不鮮明となる。	
	107.40		に	✓ IV								
	107.40		3:1	✓ III								
108	108.34			10YR 8/5	✓ IV					D	108.67 ~ 108.92 褐色汚染が明瞭な褐色の基質に破砕部が点在する。	
	108.44		黄	✓ IV								
	108.71		橙	✓ IV								
109	109.79			10YR 7/3	✓ IV						108.71 ~ 109.79 割れ目が卓越し、割れ目沿いの劣化も見られ、脆弱である。108.71 ~ 108.92 2方向の割れ目が明瞭な格子状となる。	
	109.79		黄	✓ IV								
110	110.00			10YR 7/3	✓ IV							

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長 Q	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
110	110.03									110.03 ~ 110.28 微細な割れ目が集まる割れ目がある。コアは硬く、割れ目も多くは充満している。	
	110.07										
	110.34										
	110.41										
	110.68										
111	110.78	110.75		10R 3/3	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				111.07 付近 局所的に割れ目面が群やかな青緑色に変色している。
	111.07										
	111.15										
112	111.22		GP	10R 3/3	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				112.04 ~ 113.03 高角度の割れ目が優勢である。コアの割れ目は見えないが、挟持物は無く、弱い対を深が認められる。
	111.23										
113	113.41									113.41 ~ 113.44 割れ目がやや垂直する。113.03の割れ目と60°に角化が見られ、幅5~30mm 脆弱である。	
	113.44										
114	114.59									114.59 ~ 114.76 割れ目が卓越する。114.40 ~ 114.66 20°以内 40°程度の平行した割れ目が集まる。114.70 付近は破へる片状となる。	
	114.76										
115											

調査名

孔番・深度

H27B-4(115~120)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
115	115.29				√ N					CM	115.40~115.50 115.46付近の2条の潜在的な割れ目を中心に褐色汚染が明瞭。黄鉄鉱の分解により生じた水酸化鉄である。	
116	116.11 116.25 116.45 116.52			黄橙	√ b √ II √ IV √ B √ III			57	22	CH CM	116.30 50°の割れ目面に厚さ5mmの褐色に汚染された砂状の挟在物が見られる 116.52~119.32 粒状の硬質なコアが主成分となる粒状の	
117	117.02 117.44 117.72			黄橙	√ II √ b √ II			47	21	CH	117.80 50°の割れ目に沿って鉄の変質が見られ、特に黄色味を帯びる。割れ目の周囲には輝沸石が生じている(脱泥工化作用)	
118	118.00 118.75			黄橙	√ II √ B √ II			72	30	CH		
119	119.32 119.65			黄橙	√ II √ IV √ C			86	24	CM CL	119.65~119.83 割れ目がやや単純な。割れ目面には、マカシ及び褐色の汚染が明瞭で、一部の割れ目面には不規則な砂状の挟在物が見られる。	
120								32	32			

調査名

孔番・深度

H27B-4 (120 ~ 125)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
120	120.10			10R 3/3 に 3.0 い 黄	✓ C	✓ N			CL 120.10	~120.10 割れ目に沿って変質が見られ 幅2~4mm 軟	
	120.40			120.42	✓ C	✓ N			CM 120.40	120.30 付近 65°の斜行の割れ目が集中 砂~礫状の 挟在物が見られる。	
	120.52			10R 8/6 浅 黄	✓ III					120.40 58°の比較的斜~5°の割れ目。緑灰色の変質 脈と厚さ2mmの水酸化鉄を伴う。	
	120.69			120.69	✓ III					120.40 ~ 122.56 砂不整合 柱~長柱状のコア。褐色汚染 が見られる割れ目が多い。	
	120.88			10R 3/3 に 3.0 い 黄	✓ II	✓ B			CH 120.88		
121	121.16			10R 3/3 に 3.0 い 黄	✓ II	✓ B					
	121.42			121.42	✓ II	✓ B					
	121.60			10R 3/3 浅 黄	✓ NM					121.60 割れ目の一部が脆弱で、粗粒状の砂、白色 のシルト状の挟在物が見られる	
	121.74			121.74	✓ NM				CM 121.74		
	122	122.18		10R 3/3 に 3.0 い 黄	✓ II				CH 122.18		
122	122.46			10R 3/3 に 3.0 い 黄	✓ II					122.46 割れ目の周囲が密に付着した緑色味を帯びる。輝 沸石が散在し見る。褐色汚染顕著。	
	122.54			122.54	✓ II					122.54 ~ 123.04 顕在化した割れ目の他、微細な割れ 目が多い。	
	122.78			10R 3/3 浅 黄	✓ N	✓ C			CL 122.78		
	123	123.00		123.00	✓ B	✓ B			CM 123.00	123.00 ~ 123.26 高角度の割れ目に厚さ1~6mmの二酸化 化マグネシウムが挟まる。割れ目が集水し脆弱である	
	123.26			123.26	✓ C	✓ C			CL 123.26		
123	123.34			10R 3/3 に 3.0 い 黄	✓ C	✓ N				123.26 ~ 123.34	
	123.54			123.54	✓ C	✓ N					
	123.78			10R 3/3 に 3.0 い 黄	✓ N	✓ B			CM 123.78	123.54 ~ 123.78 60°の割れ目に厚さ3mmの褐色に汚染された砂 が挟在する	
	124	124.09		124.09	✓ N	✓ B				124.09 ~ 124.30 柱状コアが主となり、変質も硬い。~124.30 までは、割れ目に挟在物が見られる	
	124.30			124.30	✓ N	✓ B					
124	124.57			124.57	✓ III				CH 124.57		
	125			125	✓ II						

調査名

孔番・深度 H27B-4 (125 ~ 130)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記号・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質
125	125.20			10YR7/3 IC	II					CH 125.20	125.32付近 奇形的に微細な割れ目が集中する	
	125.37			IC	IV					CM 125.37		
	125.80			黄橙 III	III					CH 125.80		
126	126.34			黄橙 IV	IV	B	8	3	47	20	CM 126.34	126.34 ~ 126.69 柱状コアであるが肉眼では認識できない。黄褐色の割れ目(へき面)に沿って褐色汚染。汚染はコア全体に及ぶ。
	126.69			黄橙 IV	IV					CM 126.69		
	127.00			黄橙 IV	IV				24	14	CM 127.00	
127	127.19		GP	黄橙 C	C						不規則な 127.00 ~ 127.83 微細な割れ目が卓越。 127.00 ~ 127.30 軟質でコア表面がサラツク。変質の影響で割れ目に沿って緑色味を帯びる所がある。	
	127.45			黄橙 C	C							
	127.60			黄橙 C	C							
	127.83			黄橙 C	C							
128	128.26			黄橙 C	C				12	12	CM 128.26	128.26 ~ 128.76 微細な割れ目が卓越。割れ目沿いに褐色汚染が見られる。
	128.76			黄橙 C	C							
	128.90			黄橙 C	C							
129	129.18			黄橙 C	C						128.90 ~ 129.18 割れ目沿いに劣化が見られ、一部の割れ目は不整形である。	
	129.29			黄橙 C	C							
	129.52			黄橙 C	C							
	129.77			黄橙 III	III	B						
130	129.94			黄橙 IV	IV	C			43	32	CM 129.94	
				黄橙 IV	IV	C					CM	

調査名

孔番・深度

H27B-4 (130 ~ 135)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
130				10YR7/3								130.02 ~ 130.42 高角度の割れ目が見られ、その割れ目沿いに劣化。一部砂状となる。
	130.42											
	130.75											130.84 付近 交差する割れ目に模様たての付着が局所的に劣化し、砂状となる。
131												
	131.21											
	131.54											131.54 ~ 131.64 コアの劣化が劣化し砂状となる。
	131.87											
132												
	132.14											
	132.42											
	132.67											
	132.81											132.87 60°の割れ目にマニオンが厚さ5mm程度存在する。
133												
	133.17											
	133.59											133.56 割れ目方向が砂状となり、隙には褐色の細粒物が付着する。
	133.90											
134												
	134.02			134.02 7.5YR7/6								134.02 ~ 134.50 強い褐色汚泥がコア全体に広がる。
	134.50			134.50 10Y7/1								134.50 ~ 134.74 コアはやや青味を帯びる。同化の影響は少ないが、珪化し原岩以上に硬い。
	134.73			134.73 10YR7/3 に近い								少量 134.78 付近、黄鉄鉱が分解過程の自鉄鉱が見られ、その周辺には褐色汚泥がせまい範囲に広がる。
135												

調査名

孔番・深度

H27B-4(135~140)

観察日

# 基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分			
				色調	割れ目状態	コアの硬さ	コアの形状	風化				変質		
135	135.01		GP	10YR 7/3 に ぶ い 黄 橙	IV						CH	<p>135.28 ~ 135.60 この間の傾斜角はほぼ2~3度の割れ目が2~4m程度の距離で平行に接している。床層は石英</p> <p>136.00 ~ 136.20 高角度の割れ目が目立つ。傾斜角が斜り目と交差し、割れ目がやや平越する。割れ目には20μmに汚染された挟在物が見られるものがある。</p> <p>136.34 の38°の割れ目に沿って幅緑色の珪土帯が変質部(粗粒泥石化作用)が見られ、その中に小さな粗淋石が散在している。</p> <p>136.44 局所的(5~15cm幅)に割れ目が直交し、マニガンが認められる。</p> <p>137.02 ~ 138.09 堅硬な柱状コア</p> <p>138.01 ~ 138.16 微細でほぼ平行した割れ目が非常に卓越。</p> <p>138.29 中10mmで平行した割れ目が非常に卓越する。</p> <p>139.00 70°の急峻な断層性の節理、100mmの砂状のマニガンの挟在物が見られる。上盤側にはほぼ平行な割れ目が3条見られる。</p>		
	135.28				B	II								CH
	135.60				C	IV	B							CH
136	136.00						b			38	22		136.00	CL
	136.30						b						136.30	CM
	136.50						b		2 3				136.50	CL
	136.60						b						136.60	CM
137	137.02									0	5		137.02	CH
	137.43												137.43	CH
	138.59												138.59	CH
	138.01									54	24		138.01	CM
	138.16												138.16	CL
138	138.47												138.47	CM
	138.72									138.72	CH			
	139.00							28	14	139.00	CH			
	139.31									139.31	CM			
139	139.47									139.47	CM			
	139.72									139.72	CL			
	140.00							0	9	140.00	CL			